

高校生がまちに彩り

空き店舗シャッターにアート

富士宮高校会議所（杉山葉奈会頭）は、県



あいさつする清さん



活動に参加したメンバー

立富士特別支援学校富士宮分校の卒業生アートクラブ「Atelier QUOKKA」とのコラボで、富士宮市西町レトロ館前の旅館「のはらの空き店舗シャッター」に4点のアート作品を掲示した。

同会議所が取り組む「アートを通じて、富士宮を元気に!!」プロジェクトの一環。持続可能な社づくりの活動を推進し、SDGsの目標3「若男女の健康福祉、元気にする活

目的。
23日には、同所に会議所メンバーと同旅館の篠原信子代表らが集まり、メンバーの清彩華さんが「掲示作品は数多くの絵の中からメンバーが選んだ。市民や海外から訪れた人たちに癒やしを与えるとともに、西町商店街と富士宮が元気になるのでは」と思う。今後もアートを通じて持続可能な社づくり活動に取り組む」と意欲を語った。

作者の望月絵利果さん、赤池僚也さん、山本侑雅さんが紹介される。「多くの人の目に留まる所に掲示された。嬉しい」など感想を述べた。篠原代表は「作品が道行く人たちの目を惹きつけ、明るい気持になる」と目を細く、道行く人たちの心を癒やしている。